

いま話題の武雄市図書館

歴史・文化都市「多賀城」が参考にしてよいの…?



多賀城民報

題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号
代表(364)3222
FAX(309)3910

◇弁護士による
法律相談
◇申込
電話で予約して下さい。
◇電話
364-3222
◇相談日
6月17日(月)
6月28日(金)
◇時間
午後1:30~
◇場所
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による
暮らしの相談
電話
藤原益栄議員
368-6623
070-6497-6623
佐藤恵子議員
367-0182
090-2027-9884
柳原きよし議員
368-1883
090-2605-4984
戸津川はるみ議員
090-7528-2075

本紙では二回にわたり「『どういう図書館をめざすか』の議論もしていないうちに『ツタヤへ委託』の話が出てくるなんておかしい」という党市議団の主張を紹介してきました。市当局は「決めたのは駅前移転だけ」としていますが、武雄市図書館を重要なモデルのひとつにしているのは間違いありません。武雄市図書館の実像が徐々に明らかになってきました。

武雄市?

武雄市(たけおし)は佐賀県の西部にあり佐賀市と長崎県佐世保市の中間に位置するまちで本年4月から図書館と歴史資料館をツタヤを運営するカルチャ・コンビニエンス・クラブ

(CCC)に委ね、「入館者が5倍になった」などと報道され一躍有名になりました。3月末には市長以下6名が同市図書館の内覧会に出かけています。市長は「私はツタヤなどと言っていない」というもの

の、参考にしていいの①—
間違ったようです。

「蘭学館」を閉鎖しツタヤのレンタルショップに

武雄市は今回、両施設をCCCへ委ねるにあたり、「蘭学館」を閉鎖しツタヤのレンタルショップにしてしまいましたが、なぜ武雄市に「蘭学館」なのか?。それはこの地が、鍋島茂義公を中心とする蘭学研究に組織的に取り組んだ所だからです。200年たった今でも138冊の蘭書が残されているそうです。

武雄市は今回、両施設をCCCへ委ねるにあたり、「蘭学館」を閉鎖しツタヤのレンタルショップにしてしまいましたが、なぜ武雄市に「蘭学館」なのか?。それはこの地が、鍋島茂義公を中心とする蘭学研究に組織的に取り組んだ所だからです。200年たった今でも138冊の蘭書が残されているそうです。

市の図書館の蔵書数は約17万冊。開架図書と閉架図書が約半々となっていました。図書館には良く読まれる本もあれば、読まなくても貴重な本もあります。比較的読まれる本は開架スペースに置き、貴重でもあまり読まれない本、あるいは痛みやすい資料などは高密度の書庫に収蔵され、いつでも市民のリクエストに応えられるようにしています。図書館に書庫があるのは常識です。

ところが武雄市ではCCCに図書館を委ねるにあたり書庫をつぶしてしまいましたが、そのための開架スペースにある書棚は4層近くもある超高層のものに…。でもこれでは手が届かないのですから閉架図書と同じでは…。

「騒々しい」「これらはもはや図書館ではない」等の声も…。武雄市図書館の評価には今しばらく時間が必要と思われれます。



参考にしていいの③—
CCCに図書館運営の「ノウハウ」はあるの?
図書館の専門家は「月に一度は書籍の整理が必要で、年に一度は図書館の棚卸(特別整理期間)が必要」といいます。ところが武雄市のツタヤ図書館は年中無休。現地からは「書籍の整理がきちんとされていない」との声も…。そもそもCCCには図書館運営のノウハウがありません。それがこういう形で表れているのではないのでしょうか。

ところが閉鎖したレンタルショップに…。多賀城でいえば埋蔵文化財調査センターの常設展示室をレンタルショップにしたようなもの。歴史文化都市を標榜している本市が参考にして良いのか疑問です。

参考にしていいの②—
図書館に「書庫」がない? CCCに委ねる前の武雄

安全性を危ぶむ声も…。やはり書庫はきちんと設け、開架スペースはゆつたりと安全に本を配架すべきでは

「いまま言いたい2013」に「ソフトウエア―会社会長」の肩書でビル・トッテン氏のインタビューが掲載された▼アベノミクスで株価に注目が集まっていますが、株でもうけているのは1%の金持ちだけ。安倍晋三首相が進めている金融緩和なんて国民にはなんの役も立たないのに、大手新聞は金融取引でもうけている1%の人間の言い分ばかり書いています▼日本は、エネルギーのほぼ100%、穀物の7割、食料の6割が輸入です。円安でエネルギーと食料の値段があがっているのに、消費税を2年で倍にし、物価も上げるといふ。経済を悪くしようと思つたら、これより優れた方法はありません▼1%の金持ちは政治を動かして税金を低くし、その分庶民の税金が上げられています。…広告中心の新聞やテレビばかりから情報を得るのではなく、国民一人一人が正しい情報を得る努力をし、考えなければいけないと思えます▼「僕は共産党以外の政党には期待できないから、選挙ではいつも共産党に投票しているんですよ」とも。不思議に思つて調べたら、2006年に帰化したとのこと。こういう経済人もいるんだと感心。さあ、小高洋さんを先頭がらんぼろぞ!

東風城目

11日の赤旗日刊紙1面に「いまま言いたい2013」に「ソフトウエア―会社会長」の肩書でビル・トッテン氏のインタビューが掲載された▼アベノミクスで株価に注目が集まっていますが、株でもうけているのは1%の金持ちだけ。安倍晋三首相が進めている金融緩和なんて国民にはなんの役も立たないのに、大手新聞は金融取引でもうけている1%の人間の言い分ばかり書いています▼日本は、エネルギーのほぼ100%、穀物の7割、食料の6割が輸入です。円安でエネルギーと食料の値段があがっているのに、消費税を2年で倍にし、物価も上げるといふ。経済を悪くしようと思つたら、これより優れた方法はありません▼1%の金持ちは政治を動かして税金を低くし、その分庶民の税金が上げられています。…広告中心の新聞やテレビばかりから情報を得るのではなく、国民一人一人が正しい情報を得る努力をし、考えなければいけないと思えます▼「僕は共産党以外の政党には期待できないから、選挙ではいつも共産党に投票しているんですよ」とも。不思議に思つて調べたら、2006年に帰化したとのこと。こういう経済人もいるんだと感心。さあ、小高洋さんを先頭がらんぼろぞ!